

## 事業実績報告書

### 【委託団体】

特定非営利活動法人 久住高原みちくさ案内人倶楽部

### 【事業の目的】

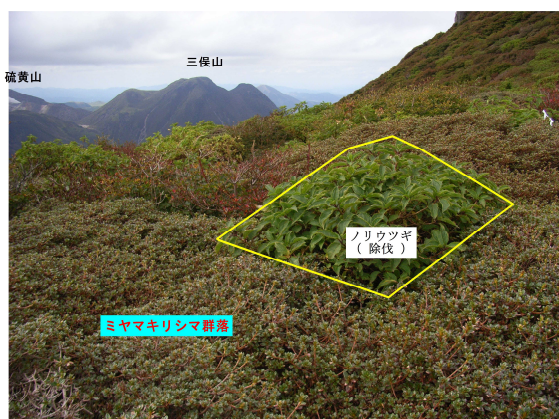
ミヤマキリシマは世界で日本（九州）にしか生育していない植物であり、その中でもくじゅう山系は特に群生地が多い場所である。近年その群生地の中にノリウツギやヤシャブシ等の背が高くなる樹木が入り込んでおり、陽好性のミヤマキリシマの枯死が発生している。そこでこれら入り込んでいる背の高い樹木（支障木）を除去することでミヤマキリシマを守る。

### 【事業の概要】

- ・ 取り組む場所：当面大船山の山頂付近（岳麓寺登山道）を対象にする。
- ・ 具体的な方法：まずNPOのメンバーで作業を開始する。  
その後特定の日ボランティアを広く募集して一斉に作業する。  
※マスコミやインターネットを使って広報する。  
※手鋸等で支障木を伐採し、伐採したものは小さく切ってミヤマキリシマの下に入れる。  
※この作業は毎年継続して行う必要がある。
- ・ 必要な道具：手鋸（およそ50本）、鉋、軍手
- ・ 作業期間：12月1日～3月末まで（この期間の中で10日程度）

### 【事業日程】

事業名	事業日程（NPO参加者）	事業の内容
農道整備	9月11日（6人）	有氏牧野農道整備
調査登山	9月13日（5人）	実態調査
調査登山（県と合同）	10月2日（3人）	詳細な調査とエリア決定
支障木撤去	12月18日（10人）	エリアの縁に沿って実施
支障木撤去	2月24日（6人）	太いものを中心に伐採
支障木撤去	2月28日（7人）	太いものを中心に伐採
農道整備	3月2日（7人）	周辺木除去
一斉ボランティア活動	3月3日（3人）	ボランティア30名による作業
片付け作業	3月21日（7人）	残留支障木の除去と片付け



調査登山（ノリウツギが被圧している状態）



山頂付近の作業風景

**【効果】**

ミヤマキリシマを被圧する植物を伐採することにより、ミヤマキリシマの生育環境を回復し、衰亡の防止を図った。